

伊勢湾貧酸素情報（第3報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

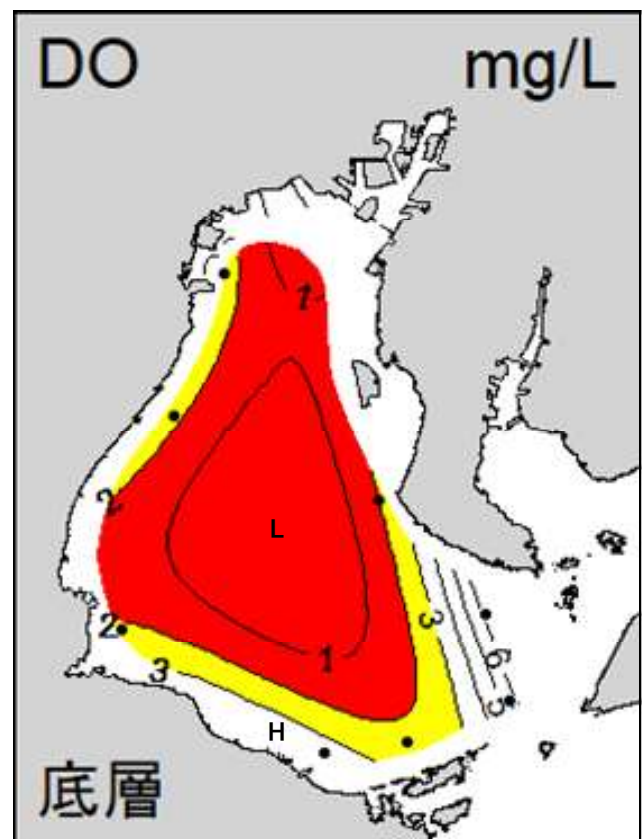
8 月 1 日の調査結果

8 月 1 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 28.0～32.0℃、10m で 22.7～24.9℃、底層で 19.3～24.2℃の範囲にあり、表層は平年よりかなり高め、10m は平年並、底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.3～10.1 mg/L、10m で 2.8～6.2mg/L、底層で 0.2～5.7 mg/L の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m と底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層では、先月の観測時より規模が拡大し、依然として広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図